

高等部佐敷分教室

ア 学部目標

自立と社会参加を目指し、様々なことに挑戦する生徒の育成

イ 週時間割及び時間数

時間	月	火	水	木	金	指導形態等	1～3年
8:35~8:45	日常生活の指導					国語	2
8:45~9:35	体育	職業	職業	体育	体育/ 保健	社会	1
	休み時間					数学	2
9:45~10:35	情報	職業	職業	美術/ 家庭	総合的な 探究の時間	理科	0.5
	休み時間					保健体育	3
10:45~11:35	職業	職業	職業	美術/ 家庭	数学	音楽	0.5
	休み時間					美術	1
11:45~12:35	国語	職業	社会	国語	道徳	職業	8.5
12:40~12:55	日常生活の指導（給食準備）					家庭	1
12:55~13:35	給食・昼休み					外国語	0.5
13:40~14:30	自立活動	外国語/ 職業	音楽/ 理科	数学	LHR	情報	1
14:35~14:50	日常生活の指導（掃除）					特別の教科道徳	1
14:55~15:05	日常生活の指導					総合的な探究の時間	1
						自立活動	1
						特別活動	1
						日常生活の指導	5
						合計	30

※月曜の職業は学年での進路学習とし、その他の職業は作業班での活動とする。

※火曜5限目は前期外国語、後期職業とする。水曜5限目は前期音楽、後期理科とする。

※木曜2、3限目の美術、家庭は2時間連続の隔週実施とする。

ウ 活動の種類と主な活動内容

活動の種類	主な活動内容	主に配慮したいこと
各 教 科	【作業】 ・働くことの意義（職業生活に必要な態度、言葉遣い等） ・道具・機械等の取扱い方や安全・衛生（配置の工夫、報告・連絡・相談等） ・役割・工程の理解（正確さやスピードの意識、責任感の形成等）	・農園芸作業や紙工芸作業、手工芸作業を通して、働く意欲や仕事に対する態度を養うとともに、報告・連絡・相談など、仕事を進めていく上で必要なコミュニケーションの能力を高める。 ・一定の時間集中して活動できる気力や体力を養い、将来の職業生活にスムーズに移行できるようにする。 ・自分たちで生産した作業製品を販売することで働く喜びを味わうとともに、接客やお金の計算など、実際の社会に触れる体験をする。
	【実習】 ・校内実習・産業現場等における実習（事前・事後学習）	・校内で作業環境を整え実習を行うことで、スムーズに現場実習に移行できるようにする。 ・地域の産業現場等で実習を行うことで、生徒の能力や適性の把握を行い、将来の就労や社会参加に向けて意欲や態度を育成する。
	【進路学習】 ・職業（自己理解、様々な仕事等） ・健康管理・余暇（休憩や休日の過	・職業に対する関心を高め、キャリアパスポートを活用した学習活動を通して、将来の職業生活に必要な事柄から課題を設定し、工夫

		ごし方)	し、課題を解決する資質・能力を育成する。
各 教 科	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・ダンス ・陸上（長距離、短距離） ・水泳 ・球技（ソフトバレー、バドミントン、キックベース） ・保健（健康の保持増進と疾病の予防、飲酒と喫煙と薬物乱用、性教育） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた主体的・協働的な学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。 ・SNS の利用において、個人情報取り扱いや投稿前のチェックなど、情報モラル教育の充実を図る。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く・話す（挨拶、返事、会話、敬語の使い方、発表等） ・書く（手紙の書き方、メモの取り方、作文、書道等） ・読む（音読、要約、ニュース等の情報活用、古文、俳句、ことわざ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を通して、相手に内容を具体的に伝えたり、話し手が伝えたいことを中心に注意して聞いたりして、日常生活、社会生活に必要な国語について理解し、表現する資質・能力を育成する。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数と計算（四則演算） ・図形、数量関係（表の見方、グラフの活用、角度等） ・量と測定（時間、カレンダー、長さ、重さ、計量等） ・データの活用（時刻表、スケジュール管理、金銭管理等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に捉えるとともに、考察したことを簡潔・明瞭・的確に表現する資質・能力を育成する。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加ときまり（選挙、税金、社会保障制度、国や地方の仕組み、奉仕活動） ・公共施設の役割と制度 ・国土の自然環境と国民生活（公共事業、環境問題） ・産業と生活（農業、水産業、流通、情報との関わり） ・日本、外国の様子（歴史、地理、国際連合、国際問題） ・地域貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象について関心を持ち、具体的に考察する活動を通して、自立し生活を豊かにするとともに、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族 ・家庭生活での役割と地域との関わり ・家庭生活の健康管理と余暇 ・道具・器具等の取扱い方や安全、衛生（調理、被服等） ・乳幼児や高齢者の生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生命（植物、昆虫、食物連鎖） ・地球・自然（天気、風、太陽、月、星水の流れ方、温度による水の変化、天気予報の活用、台風や大雨への対策） ・物的エネルギー（ゴムの力、光の進み方、音の伝わり方、電気の伝わり方） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、問題に予想や仮説を立てるとともに、その解決の方法とより妥当な考えを作り出す力を養い、学んだことを生活に生かそうとする資質・能力を育成する。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（生徒歌、その他の歌） ・音楽づくり（アプリを活用した楽器演奏） ・身体表現（手話、ボディパーカッション） ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、日常生活や社会生活の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
	美術	<ul style="list-style-type: none"> ・表現（絵の具、粘土、木や紙、墨、画用紙など様々な材料での表現活動） ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、日常生活や社会生活の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

各教科	情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の問題解決（タブレットの基本操作、インターネット使用に関する基本的な法規、制度、情報モラル） ・コミュニケーションと情報デザイン（アプリやソフトの選択と活用） ・情報通信ネットワークとデザインの活用（情報セキュリティの仕組みと必要性、データの収集と整理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
	外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く・話す。（挨拶、返事、会話をやる） ・書く（自己紹介シート作成等） ・読む（身近な単語等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語でのコミュニケーションにおいて、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
	特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習 ・心の絆を深める活動 ・人権教育、いじめ0運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味関心のあることや身近で起こった出来事等を題材として取り入れ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・いじめ0運動において、生命尊重、人間尊重、男女平等の精神、自他を大切にすることを実体験を通して学ぶ。
日常生活の指導	授業準備・SHR	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の記入 ・更衣 ・朝の会 ・健康観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の流れを確認して、目標を立てたり、活動の準備を行ったりする。 ・役割意識を持つことができるよう、係活動に取り組む。 ・健康状態を把握し、気持ち良く学校生活を始められるようにする。
	給食準備	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳 	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳を通しての知識や技能を学ぶとともに、協力して準備することで社会参加への意欲を育てる。
	掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当場所の掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任を持って取り組めるよう、担当場所や手順を決める。
	下校準備・SHR	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の記入 ・荷物の整理 ・帰りの会 ・下校指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に対する評価を行い、一日を振り返ったり、下校の準備を行ったりする。 ・翌日の日程や準備物を確認し、見通しをもって活動できるようにする。
特別活動	LHR 委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動、学級の諸問題 ・仲間づくり ・社会における役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい学校生活を送るための生活の基盤として、学級の諸問題を解決したり、人権感覚を大切に学級集団づくりを行ったりしていく。
総合的な探究の時間	芦北高校との交流及び共同学習	<ul style="list-style-type: none"> ・芦北高校の各学科との交流（農業科、林業科、福祉科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・芦高祭のステージ発表に向けた取組（福祉科）、樹木に係る取組（林業科）、米作りに係る取組（農業科）等、芦北高校の各科の特色を生かした学習に取り組んでいく。また、同世代の仲間として学習を共にする中で、相互理解を深める。
	校外学習及び探究学習	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における体験的な活動 ・文化や芸術に関わる活動 ・卒業後及び進路に関する探究活動 ・余暇生活を豊かにするための活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や職業の授業で学習したことを生かし、校外の体験学習を通して実践したり、探究学習を通して生徒の興味や関心を広げたりする。
自立活動	健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣（感情のコントロール、コミュニケーション力の向上、人間関係を築くための力など）を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。